

## 2023 年臨時総会議事録

■開催目的 山王サタデーナイトコーラス臨時総会

■日 時 2023年12月9日(土) 17:00~17:30

■場 所 山王小学校多目的室

■出席者数と委任状数の確認

出席者 12名(石川、伊集院、海野、榊原、白井、畠山、畠山、浜中、林、三ツ谷、森田、山中)

委任状 15名(ソプラノ9、アルト4、テナー1、バス1)

出席者数と委任状数の合計27人が団員数30人の50%を超えており本総会は成立する。

■配布資料

資料01 2023年臨時総会お知らせ

資料02 2023年臨時総会議事次第

資料03 予算・中間決算(自2023/3/4 至2023/9/23)

■議案1) 臨時運用500円/回の参加費徴収から従来の月謝3000円/月への復帰について  
これまでの経緯

2023年4月1日(土) 定期総会議事録

9月頃行う予算見直しの方針に関する決定事項

今年度の収支に対する影響を9月頃確認し、今までの500円/人回の参加費徴収から従来の月謝3000円/月への復帰を検討すること。

2023年5月27日(土) 運営委員会議事録(第1回)

現在の臨時運用の一回ごとの参加費から従来の月謝制(皆さんの意見を聞いて後日決定)を検討すること。

2023年10月14日(土) 運営委員会議事録(第2回)

現在の臨時運用の一回ごとの参加費から従来の月謝制への移行を検討した。

3000円に戻さないと赤字団体になるので、戻す必要がある。

従来会費に戻す場合、年明け、次年度から行うかにつき団員の意見を反映させるため臨時総会を2023/12/9(土)に開催した。

本日の決議

現在の臨時運用500円/回の参加費徴収方式から、従来の月謝3000円/月への復帰を行う時期は2024年4月1日とする。理由は①年度変更と②社教への報告がスムーズで、かつ、③3月まで現状維持でも運営に支障がないため。

■議案2) 規約の年度収支の扱いを元の表現に戻すことについて

これまでの経緯

2006年の規約抜粋「負担は前年度繰越金を含めない範囲において、当該年度収支差額が0~10万円に収まる範囲で、練習にかかる経費を負担する。ただし前出の収支差額

の目標額は5万円程度とする。」としていたが、その後削除し、今日に至っている。

本日の決議

規約に「負担は前年度繰越金を含めない範囲において、当該年度収支差額が0～10万円に収まる範囲で、練習にかかる経費を負担する。ただし前出の収支差額の目標額は5万円程度とする。」を追記する。施行期日は2024年4月1日とする。

よって、2025年3月の2024年度単年収支差がプラス5万以上あった場合、年度末から払戻時に在籍する団員に現金同額の戻し払いを行う。

なお、収支差額に色を付ける作業（誰が幾ら又はこれまでの個々人の支払い累積額等）の作業は事務手続きの煩雑性から行わない。

また、払戻額は会計の事務手続きの煩雑性を避ける額とし、単位（千円単位か5千円単位か万単位か）については事務方に一任する。

■意見

- ・全ての団員から年会費100円でも1000円でも徴収してはどうか？
- ・練習開始時間を現在の17時～、を18:30に変更を希望する。
- ・月謝制と単発制の併設を検討してほしい。

以上3点の意見を、運営委員会で議論することとなった。

- ・新年度から施行する先生の改定謝金の調整を運営委員会で調整することとなった。

以上

\*\*\*\*\*

山王サタディナイトコーラス運営委員会議事録（2回/2023年）

■日 時：2023年10月14日（土）17:00～

■場 所：バーミヤン

■出席者：（○）榊原（書記） （○）白井 （○）林 （○）川野 （○）石川  
 （○）伊集院 （×）浜中 （×）海野（書記）オブザーバー（×）福田先生

■参考

団の新たな再出発のスケジュール

掲載日	内容	施行日
5/25	白井 便り発行 練習時間 → 6/1 から 17:00～19:00	6/1～
5/25	運営委員会 19:00～招集連絡 榊原次第印刷持込 再出発詳細の確定(練習時間、マスク等コロナ対応、白井便り発行(再 出発のお知らせ) 参加費と月謝、)	5/27
6/01	白井便り発行(再出発のお知らせ) マスク → 個人個人にゆだねる。(心配な方は着けてください。) 検温報告書→ 小学校に対する報告が無くなった。 講師仕切り→ 外す。松実先生の前の仕切り。 音楽祭見学と打上の誘い	5/27～ 5/27～ 6/10～
6/01	発表会 → 発表会参加費は今後 1000円/人回徴収	7/1～

6/01	音楽祭見学の誘いと打上の誘い	7/1
6/01	曲の候補 → 7/1 音楽祭以降の曲の希望を聞きます。	7/2～
6/01	コロナ緊急自主運営の解除（再出発日）規約「休会の処遇」適用	7/2～
x/xx	参加費 → 現在の参加費@500円→従来の月謝制3000円/月	x/xx
7/06	白井便り発行 以降新曲練習	7/8～

■定期総会で要求された検討事項

2023年4月1日（土）定期総会議事録抜粋

総会で以下のことが決定されました。

これまで参加費無料で実施してきた発表会参加費は今後1000円/人回徴収する。

7月1日に予定されているコーラスフェスティバルは1000円/人回徴収する。

9月頃行う予算見直しの方針に関する決定事項

今年度の参加者増減の収支に対する影響を9月頃確認し、今までの500円/人回の参加費徴収から月謝への移行を検討する。

参加費500又は月謝制に移行した場合でも、年会費1000円程度/人年を部員全員（500円の参加費を取めていても、500円の参加費を取めない休部員も含め）から徴収する案を運営委員会で検討する。

発表会はモチベーションに良いので積極的に参加する。

休部中のメンバーへはパート毎に声掛けをする。

簡便で誰でも扱えるITオペレーションを模索する。

社教更新の年度のため、提出資料を準備する。

■これまで参加費無料で実施してきた発表会参加費は今後1000円/人回徴収し始めたが継続することでよいかの問いに対しては以下のこととした。

→月謝制（従来の月々の徴収方法）に戻さない限り、本件は継続する方針とした。

言葉を換えれば、現在の500円/出席の徴収方法を継続する場合、本件は継続する。

また、予定されている12月3日の合唱祭は団の「お礼の気持ち」として従来の額に戻すこととした。具体的な額はコロナ禍では合唱祭の謝礼は松実氏2万→1万を従来の2万に、福田氏2万→1万を従来の2万の支払いに戻すこととした。

この財源は「現在の500円/出席の徴収方法を継続する場合発生する1000円/人回徴収」とし、不足する部分は繰越金から拠出する。

■9月頃行う予算見直しの方針に関する決定事項の中に「今年度の参加者増減の収支に対する影響を9月頃確認し、今までの500円/人回の参加費徴収から月謝への移行を検討する。」の議事録に対し以下で検討した。

→コロナ禍で練習参加団員が10人以下になったので、収入減の状況で、団を継続運営するため、先生方に相談し謝金減額してもらい現在に至っている。

具体的には松実氏は従来の3万円/月→2万円に、福田氏は従来の2万円/月→1万円にお願いしている状況だ。

現在、「団の新たな再出発のスケジュール」を実行中で、団員も徐々に戻りつつあるので、先生方の謝金を戻すタイミング等と謝金額の検討を行った。現在の参加費@500円を従来の月謝制3000円/月に戻す場合は何時から戻すのか。

しかし、500円/人回の参加費に変更後以降に入団した団員（7名）がいるので、従来謝金と従来会費に同時期に戻す場合、年明けか、次年度会計から行うかにつき団員の

意見を反映させるため臨時総会を 2023/12/9（土）に開催することとした。

- ・意見としては、経費の妥当性（謝金関係、他団体の謝金額の状況については確認していない）、会費の妥当性（500 円/出席時、月謝 2000 円、月謝 2500 円、月謝 3000 円/月謝）従来の月謝に戻す場合、他の意見が多く出た。

- ・予測に条件として追加要求があった。

2023 年 12 月まで謝金松実氏 2 万/月+福田氏 1 万/月、会費 500 円/回、

合唱祭謝礼松実氏 2 万/回+福田氏 2 万/回、

2024 年 1 月から謝金 3 万/月+福田氏 2 万/月、会費月謝 3000 円/月謝を条件として追加。

#### ■年会費 1000 円程度/人年を部員全員から徴収することを検討する。

→休部している団員がいるので、休部者から年会費を新たに徴収し辛いので月謝制（従来の月々の徴収方法）に戻した時点まで留保する。

意見としては、年会費の効果は①「資金が足りないことを埋める一つの方策」、②「資金は足りていても年会費があるのは不自然ではないので、そういう制度を構築しておき、休団していても、団の構成員であることの義務を一年に一度実行する。」、③「月会費の 1/3 程度年に一回徴収しても意味がないので、考え方を破棄する。」他の意見が多く出たが、現段階では考え方を留保（月謝制（従来の月々の徴収方法に戻す間））することとした。

#### ■追加の検討事項

収支差額について

2006 年の規約抜粋「負担は前年度繰越金を含めない範囲において、当該年度収支差額が 0～10 万円に収まる範囲で、練習にかかる経費を負担する。ただし前出の収支差額の目標額は 5 万円程度とする。」と記述があったが、その後の規約では削除され、今日に至っている。

2019 年度は繰越額が 714.529 あり榊原は非常に困っていた。

解決策は規約に 2006 年の負担を追記し、決算時の在籍会員に戻入実績を作ることで、前例実績を作りたい。

規約改正だけでは、補正予算の必要性が発生し面倒、規約と戻入実績のセットが手間が少ない。

→3 月末日の在籍団員に余剰金の少額戻入実績をつくる。

例@100×22 人=2,200 を決算時に検討することとした。規約の改正は社教への届け出、臨時総会での決議が必要で今回の臨時総会の議論が複雑になるので余剰金の戻入だけの実績を決算時に検討することとした。

\*\*\*\*\*

#### 山王サタディナイトコーラス運営委員会議事録（1 回）

■日 時：2023 年 5 月 27 日（土）19：15～

■場 所：バーミヤン大森駅前店

■出席者：（○）榊原（書記） （○）白井 （×）林 （○）川野 （○）石川  
（○）伊集院 （×）浜中 （×）海野（書記）

オブザーバー（×）福田先生

■議事

■1）経緯

2023年5月8日コロナが5類に移行及び2023年7月1日合唱祭のイベント終了以降に「臨時の自主運営」から「コロナ前の通常運営」に順次切り替える。団は以前の状態に戻し始めるため、運営委員会でいっとうやって戻していくか、団の明確な再出発宣言を検討した。

なお、前回の運営委員会(2022年1月8日)から1年4ヶ月経過で、久しぶり開催です。

## ■ 2) コロナ自粛者の視点

2023年6月のサタディはコロナ対応の自主練の延長線上にある。自粛組は復帰のタイミングを提供してくれないと復帰できない。タイミングは団が明確に示す再開宣言だ。自粛者から見た現在のサタディは昔のサタディと異なって見える。コロナ宣言中の自主練の延長線上に位置し、新しい団員も増えて、戻りにくくなっている。参加費と月謝、練習時間帯、7/2以降の新曲、マスク等のコロナ対策を仕切直した再開宣言があると、戻りやすい。自粛者が戻りやすく参加しやすい環境を整えることを中心に考えてもらえると、みんなが戻りやすい。

2023年7月1日の合唱祭までは自主練の延長と位置づけ、合唱祭終了翌日から曲目が変わる場合が多く、自粛者が復帰しやすいように合唱祭終了翌日に再開日としてもらいたい。

そのためには再開宣言は早ければ早いほど、自粛者の時間の余裕ができ、復帰のキッカケを作りやすくする。

今後は復帰宣言を明確に打ち出すため、以下の段取りを早めにする。

- ・自粛者の合唱祭見学へのお誘い
- ・合唱祭打上げの参加へのお誘い
- ・希望する練習曲の意見の聞き取り

## ■ 3) 再出発の自粛者復帰の見込み

現在参加者15名、自粛者7の内訳。

《ソプラノ》自主6人 白井、曾田、石井、海野、内山、藤本

自粛3人 伊藤、平林、畠山

《アルト》自主5名 石川、森田、登坂、新村、鈴木

自粛2名 山中、津田

《テナー》自主2名 浜中、川野

自粛1名 小仁

《バス》参加2名 榊原、吉澤

自粛1名 伊集院

## ■ 4) 団の新たな再出発のスケジュール

掲載日	内容	施行日
5/25	白井 便り発行 練習時間 → 6/1 から 17:00~19:00	6/1~
5/25	運営委員会 19:00~招集連絡 榊原次第印刷持込 再出発詳細の確定(練習時間、マスク等コロナ対応、白井便り発行(再出発のお知らせ)参加費と月謝、)	5/27



団の新たな再出発のスケジュール（コロナ以前に戻すための行動計画表）

掲載日	内容	施行日
5/25	白井便り発行 練習時間 → 6/1 から 17:00～19:00	6/1～
5/25	運営委員会 19:00～招集連絡 榊原次第印刷持込 詳細の確定(参加費と月謝、練習時間、マスク等コロナ対応、白井便り発行（再出発のお知らせ）)	6/1～
6/01	白井便り発行（再出発のお知らせ） マスク → 個人個人にゆだねる。（心配な方は着けてください。） 検温報告書→ 小学校に対する報告が無くなった。 講師仕切り→ 外す。松実先生の前の仕切り。 音楽祭見学と打上の誘い	5/27～ 5/27～ 6/1～
6/01	曲の候補 → 7/1 音楽祭以降の曲の希望を聞きます。	6/1～
6/01	発表会 → 発表会参加費は今後 1000 円/人回徴収	7/1～
6/01	参加費 → 現在の参加費@ 5 0 0 円→従来の月謝制 3000 円/月。	x/xx
6/01	音楽祭見学と打上	7/1
x/xx	コロナ緊急自主運営の解除（再出発日）規約「休会中の処遇」適用	7/2～
7/06	白井便り発行 以降新曲練習	7/8～

皆様と一緒に考えながら、「サタデーはこの基準でイイネ」を作って参りましょう。

今後も体調管理に気をつけながら、参加可能な方はご自由にご参加ください。

なお、毎回皆さまにお願いしてる当日の検温報告ですが「学校側への提出が先週より無くなりました。」「出欠のみ」をパートリーダーにお知らせ下さい。

本番まで1ヶ月少しになりましたが宜しくお願いします。

今後も体調管理に気をつけながらご参加ください。出欠の件は土曜日のお昼までに、各パートリーダー宛にご連絡をお願いします。

コロナ対策では換気や消毒など基本の感染対策は今まで通り行い、マスクなどに関しては施設借用の条件から外れましたので、任意の形でそれぞれがご判断下さい。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- ・日時…6月3日、土曜日、17時00分～19時
- ・場所…山王小 多目的室
- ・参加費…500円
- ・持参する楽譜…「yesterday」「chim chim cher-ee」「my favorite things」などお持ちください。

※ご不明な点は榊原団長またはマネージャー代行白井まで問い合わせ下さい。

\*\*\*\*\*

## 2023 定期総会議事録

■開催目的 山王サタデーナイトコーラス定期総会

■日 時 令和5年4月1日（土）

■場 所 リアルとコロナ禍のため mail

■出席者

榊原、白井、林、川野、石川、浜中、森田、海野(ソ)、登坂、鈴木、10名  
オブザーバー(福田先生)

出席者数と委任状数の確認

2023山王サタデーナイトコーラス定期総会集計				
ソプラノ	アルト	テナー	バス	合計
出2+委9	出5+委3	出2+委1	出1+委2	出席委任25/28団員

出席者数と委任状数の合計が団員数の50%を超えているので本総会は成立する。

■配布資料

- 資料 00 2023 総会お知らせ
- 資料 01 2023 定期総会次第
- 資料 02-01 2022 活動実績
- 資料 02-02 2022 決算
- 資料 03-01 2023 活動予定
- 資料 03-02 2023 予算

- 議案
- 1) 2022 年度活動報告および決算
  - 2) 2023 年度活動計画案及び予算案
  - 3) 役員改選

■議案

- 1) 資料 02 2022 年度 活動報告及び決算 決議事項  
活動報告 練習は7/2~3/25の間に32回実施、松実先生は13回来訪。  
決算 収入155千円、支出208千円 収支差△53千円 次年度繰越327千円  
議案は原案の通り承認されました。
- 2) 資料 03 2023 年度 活動計画及び予算 決議事項  
事業計画及び予算の方針  
事業計画及び予算の方針  
コロナは現在の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同等の「5類」相当への移行方針が予定(5月連休明け)されている。その方針に合わせ練習回数はコロナ前の回数に戻すが、参加者は現状の参加状態として事業計画と予算を立てました。  
参加者の増減の影響を9月頃確認し予算の見直しを検討します。  
活動計画 練習は4/1~3/30の間に49回予定、松実先生は24回予定。  
予 算 収入24万円、支出43万円 収支差△19万円 次年度繰越14万円  
議案は原案の通り承認されました。
- 3) 役員改選 決議事項  
昨年度が役員改選の時期で、今年度に役員改選を持ち越しましたが、コロナ禍のため役員改選は見送ることにします。  
議案は原案の通り承認されました。

4) その他意見

総会で以下のことが決定されました。

これまで参加費無料で実施してきた発表会参加費は今後1000円/人回徴収する。

7月1日に予定されているコーラスフェスティバルは1000円/人回徴収する。



#### 9月頃行う予算見直しの方針に関する決定事項

今年度の参加者増減の収支に対する影響を9月頃確認し、今までの500円/人回の参加費徴収から月謝への移行を検討する。

参加費500又は月謝制に移行した場合でも、年会費1000円程度/人年を部員全員（500円の参加費を収めていても、500円の参加費を収めない休部員も含め）から徴収する案を運営委員会で検討する。

発表会はモチベーションに良いので積極的に参加する。

休部中のメンバーへはパート毎に声掛けをする。

簡便で誰でも扱えるITオペレーションを模索する。

社教更新の年度のため、提出資料を準備する。

以上